



The Cocoa Snapshot 2022-2023



カカオ生産の未来を作り変える

ココアホライズン

カカオは、主に赤道近くの小規模生産者によって栽培されています。このサプライチェーンは、生産者が土地への投資を十分にできない、児童労働の高い発生率、人権侵害、木々の老朽化、土壌の枯渇、気候変動の影響、また学校や安全な水、舗装された道路へのアクセスが困難など、基本的なコミュニティインフラが欠如し、現在多くの課題に直面しています。

これらの問題に対処し、カカオ生産者の繁栄を促進するため、2015年にバリーカレポーは、**自然環境と子どもたちを守り、自立したコミュニティを創出する**というビジョンのもと「ココアホライズン財団」を設立しました。

このプログラムは、バリーカレポーの関連企業によって7ヶ国で実施されています。コートジボワールではTouton、Sucden、ETGとも連携し活動を広げています。

私たちの取り組みの核心には、**インパクトと透明性**があります。監査済みの年次報告書を通して、資金の活用内容と農業コミュニティにもたらした具体的な成果を報告しています。

改革の推進法

私たちは以下のアプローチを実践することで、改革を推進しています：

- 専門家や革新的なパートナーと連携して総合力を強化する
- データや新しいソリューションを活用して、当財団の影響力を評価し、効率を向上させる
- 重要かつ影響力の高い取り組みに、財団の資金を集中させる
- 生産者と直接対話し、必要な改革に理解を求め推進する
- ブランドパートナーが生活者との繋がりを深めることを支援し、持続可能なカカオの需要を促進する

バリーカレポーが持続可能な供給源から入手しているカカオのうち、46.4%がココアホライズンプログラムを通じた調達となっています。

2022/2023の成果報告書(英語)へのアクセスは下記のリンクから：

<https://www.cocoa Horizons.org/reports>



ココアホライズンとパートナーになることで、国連の持続可能な開発目標を支援することができます：
<https://www.un.org/sustainabledevelopment>

「持続可能な開発目標」の使用に関する免責：
本書の内容は国際連合によって承認されたものではなく、国際連合、その職員、加盟国の見解を反映するものでもありません。



2022/2023年度 財務報告 (スイスフラン)

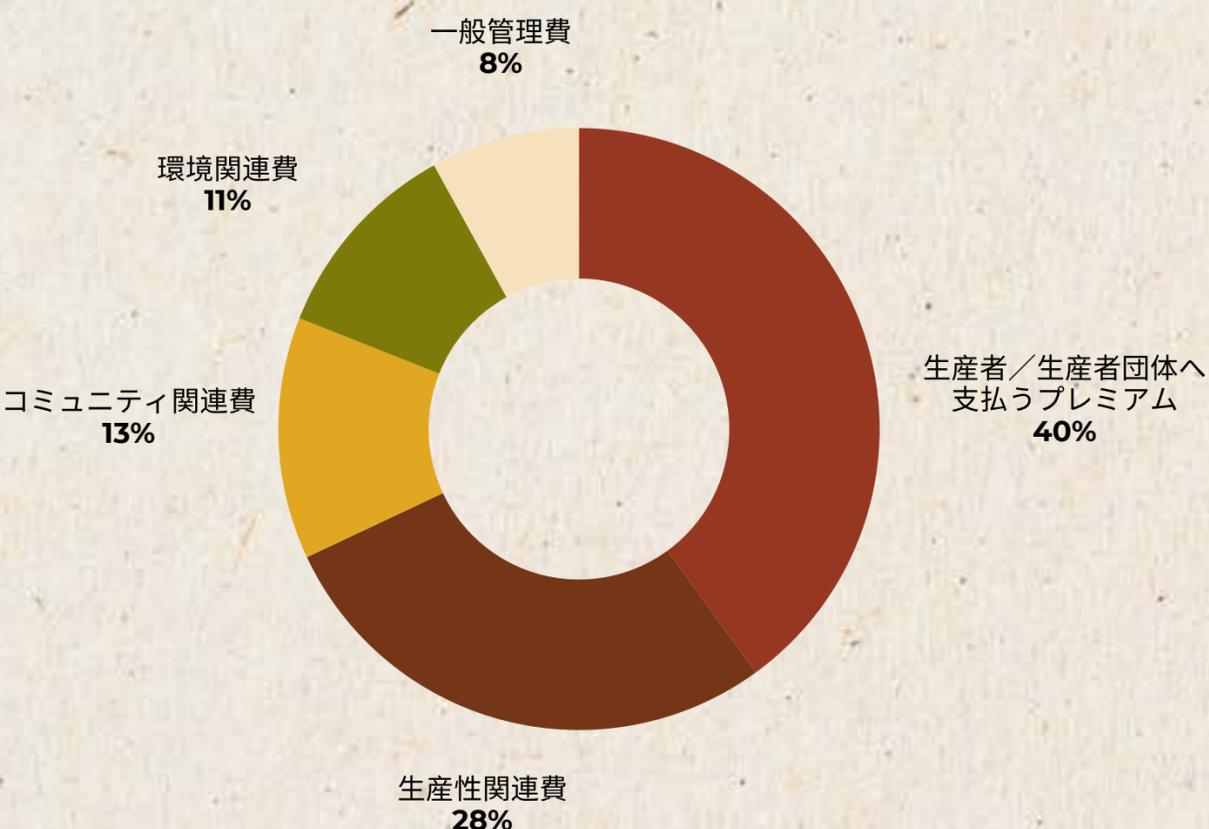
+34%

前年度比

私たちの活動に充てられる
1300万CHF (スイスフラン)の収益増

ココアホライズン
プログラム 収入 **50,053,345**

プレミアム収入の配分*



ココアホライズン
支出 **52,541,228**

生産者/生産者団体へ
支払うプレミアム **22,804,936**

生産性関連費 **14,638,331**

コミュニティ関連費 **5,220,950**

環境関連費 **4,836,169**

一般管理費 **5,040,841**

私たちは、財団の目的に沿った活動にのみ資金を提供し、生産者のプレミアムに加え、生産性、コミュニティ、環境分野への投資を行っています。

このセクションでは、透明性を確保するために、2022/23年度の具体的な収入と支出についてご報告いたします。

私たちの活動の資金源：

- ココアホライズンのカカオやチョコレートの購入に伴い、お客様がお支払いくださるプレミアムから得られる資金
- バリーカレボーからの400万スイスフランの寄付
- 2021/22年度からの繰り越した未使用資金

財団の活動は、バリーカレボーの従業員およびパートナーによって展開されています。

免責事項：生産者及び生産者グループへの支払われるプレミアムは、調達されたカカオ豆の量に基づいていますが、その他の支出はココアホライズン財団の判断により行われます。

*実際の内訳は、地域特有の事情により±5-10%程度異なる場合があります。

グローバルでの活動ハイライト

新規生産者へプログラムを拡げ、
新しい生産者グループの参加を促進

+63%

カカオ納入生産者
96,000人増
(2022年度比)

314

生産者グループ
19%増
(2022年度比)



サステナブルなカカオへの需要増加に対応

+100%

購入されたカカオの量
175,000トン増
(2022年度比)



35万トンは、前年度監査後に有効となった2022年度からの繰り越し3万8千トンを含む

新たな資金調達

+34%

1300万スイスフラン増
(2022年度比)
活動のサポートに充てられる

トレーサビリティ

79%

完全なデータ付きで納品した
カカオ生産者

→ 2025年までに
100%達成

生産者の繁栄

50%

世界銀行が定める国際貧困ライン
(2.15米ドル/1日) 以上の
収入を得ているカカオ生産者

→ 2025年までに
100%達成

自立したコミュニティ

99%

直接のサプライチェーンにいる生産者グループで、
児童労働のモニタリングを受けている、
または対応措置を実行している割合

→ 2025年までに
100%達成

自然を豊かに

59%

森林破壊につながらない
環境で生産されたカカオ

168k

炭素除去量
168,000トン
(二酸化炭素換算)

→ 2025年までに
100%達成

支援している生産者について

私たちは、共に活動する生産者が日々直面している課題をより深く理解するため、国勢調査を通じて情報を収集しています。これにより、地域の複雑な問題にも対応し、生産者のニーズに合った活動を実施することができます。



主要データと統計

247,383

カカオを納品する生産者

+63% 前年比



15%

女性の割合

51

平均年齢

7.4

1世帯当たりの平均人数

79%

100%完全なデータと共に納品している生産者の割合

99.9%

プレミアム*を受け取る生産者の割合

49,349

デジタルでプレミアムを受け取る生産者



*この報告書が公表される時点における数字です。未払いの生産者へのプレミアム支払いは現在進行中で、本会計年度の終わりまでに支払いを100%完了させることを目標としています。

生産者の繁栄

私たちは生産者の貧困脱却を目指し、努力を続けています。現在、私たちと共にココアホライズンプログラムに取り組む生産者の50%が、世界銀行が定める国際貧困ラインを超える収入を得ています。

実践重視への転換

本年度、ココアホライズンプログラムのアプローチは、これまでのトレーニング中心から、収穫前の「実践」型へシフトしています。

収穫前の「実践」アプローチでは、剪定や散布作業のための労働力を提供することで、生産者を支援することができます。

このウィンウィンの取り組みは、次の理由から非常に高い評価を受けています：

- プログラムを受ける生産者の収穫量の増加
- 収穫期以外の期間に、労働者グループが別の収入源を確保できる（グループメンバーは通常、若手や小規模の生産者）
- メンバーが新しい技術を取得できる
- メンバーや地域住民が、収穫前の技術や実践を学び、再現が可能になる

さらに、生産者の多様なニーズに応えるために、個別の指導も行っています。

生産者の成功を支える基盤として「ファームビジネスプラン」を導入し、以下を実践しています：

- 生産者と協力して問題を特定し、彼らの具体的な要求を明確化
- 生産者への指導と提案
- 生産性向上パッケージ（例：肥料）を提案

これにより、収穫量が増加し、生産者の収入向上に繋がることが実証されています。

2024年に向けて

カカオの生産方法の改革に向けて、各生産者の特性をより理解し、それに応じた活動が展開できるよう「ファームサービス」をさらにカスタマイズしていきます。また、生産者への現金プレミアム支払いのデジタル化を進め、生産者が長期的に生計を立てられる環境を実現するため、農業モデルの継続的な改善に努めていきます。

66

かつて、私の農場は木々で囲まれており、そのためカカオの実が腐ってしまうことがありました。

しかし剪定をしてもらってから、木々に十分な日光を当たるようになり、収穫が大幅に改善しました。今では、シーズンごとに4袋も多く収穫できるようになり、これが私の子どもたちの高等教育の資金となっています。

私のカカオ豆のように、子どもたちもどんどん成長していっています。

99



ピース・オウス
23年間カカオの生産に従事
ジュアソコミュニティ
アシャンティ地方、ガーナ



生産者の繁栄



168,567

世界銀行が定める国際貧困ライン(2.15米ドル/1日)以上の収入を得ているカカオ生産者

↪ +39% 前年比



84,692 +39% 前年比

学校を卒業した生産者



126,714 +5% 前年比

「ファームサービス」を受けた生産者



44,412 +9% 前年比

「生産性向上パッケージ」の提供を受けている生産者



49,349

デジタルでプレミアムを受け取る生産者



16,707 +191% 前年比

収穫前のサポートを受けた農場のヘクタール数



2,246,806 +18% 前年比

配布されたカカオの苗木



自立したコミュニティ

コミュニティのエンパワメントを通して子どもたちを守る

本年度、私たちは児童労働の監視と是正活動を殆どの生産者グループ (99%) を対象に行いました。その結果、44,724件の児童労働を確認しました。調査対象を拡大したことで発見件数は増えましたが、昨年度にはこれらの問題の是正に成功し、報告されたケースのうち、55,674件 (51%増) が是正措置を受けています。

問題を解決するために、私たちはパートナーと協力し、出生証明書の提供、補習クラスのための提供、学校用キットの配布、子どもの保護に関する啓発活動を続けています。

同時に、コミュニティメンバーにジェンダーや社会問題に関する研修を行い、女性の自立を支援しています。女性たちは子どもの幸福のために積極的に投資をし、子どもの保護において中心的な役割を担っていると考えるからです。

また、コミュニティメンバーが、カカオ生産以外の様々な収入源も確保できるようアプローチを行っています。

VSLA (村の貯蓄貸付組合) では、組合員がお金を出し合い、事業を立ち上げたり、家庭に必要な資金 (医療費、学費など) を調達したりすることができます。本年度集まった資金、120万スイスフラン相当のうち、半部分がコミュニティレベルでの投資に回され、そのうちの3分の1以上が子どもたちの教育に充てられました。VSLAのメンバーは主に起業家精神に富む女性たちで、彼女たちに経済資金を得るチャンスを提供しています。

2024年に向けて

私たちは、コミュニティシステムアプローチを強化するモデルにシフトしています。これは、子どもの保護にさらに多くのリソースを割り当てることを意味します。

具体的には:

- 政府と協力して国の児童保護システムを強化
- コミュニティのインフラの改善
- 質の高い教育の機会を保障
- コミュニティメンバーの生計手段を改善

そして、私たちは、OECD(経済協力開発機構)のフレームワークの6ステップに従って、児童労働と強制労働に関する人権デューデリジェンスを実施し、サプライチェーン全体での人権に対する悪影響の評価、対策を講じていきます。

66

地域開発委員会の一員となったことで、私たちは一丸となってニーズに取り組むことができました。

まず、私たちは給水ポンプを手に入れました。妻たちは、以前は毎日数キロも歩いて近隣の村から水を運んでいたものでした。

次の成果は学校の建設でした。委員会のおかげで私たちの存在が知られるようになり、政府から資金を得て地域に学校を建てることができました。

アカクロ地域の委員会が活動することで、地域住民が自分たちのコミュニティに対して強い所属意識や誇りを感じるようになりました。

ただ夢見るだけではだめなのです。実際に行動を起こして目標を達成しなければなりません。委員会はそのための素晴らしい場になっています。

99

シプリアン・クアシ・クアディオ
コートジボワール、アカクロ村
20年間カカオの生産に従事



自立したコミュニティ



99% +4% 前年比

児童労働のモニタリングと対応措置を受けている、
直接のサプライチェーン内の生産者グループ



163,532 +26% 前年比

ジェンダーや社会的な問題について
研修を受けた生産者



44,724 +131% 前年比

確認された児童労働の件数



1,249 +12% 前年比

VSLAの設立数（機能数）



55,674 +51% 前年比

改善対応中の児童労働の件数



69% -3% 前年比

VSLAのメンバーに女性が占める割合



9,343 +255% 前年比

改善対応措置実施済の児童労働の件数



CHF 1,2 million 120万スイスフラン

VSLAを通じての総貯蓄額



CHF 0,7 million 70万スイスフラン

VSLAを通じての総貸付額



自然を豊かに

私たちは、森林破壊に繋がらないカカオの生産を目指し、法律や規制の変化にも柔軟に対応しています。

透明かつ追跡可能なサプライチェーンへの取り組みと並行して、生産者数の増加に対応しつつ、農地のマッピング作業を継続しています。また、低炭素農業の実施と景観プロジェクトへの取り組みを続けています。

本年度、より強力なアグロフォレストリー手法を採用し、その規模は14,000ヘクタール以上にもなりました。生産者の間では収入増につながる生態系サービス(PES)への関心が高まっています。PESとは、植林した樹木に対し、炭素除去の報酬を年単位で受ける仕組みで、すでに3,000ヘクタール以上で実施されています。

高い生存率と長期的な炭素除去を確保するため、私たちはバランスを取りながら活動を進めており、苗木の配布を若干減らし、代わりに樹木のメンテナンスにより多くの投資を行っています。

また、農場外での森林再生活動を継続して行い、生産者に配布する苗木の数を倍増させました。

新しい法制度への準拠

2025年までに、ヨーロッパでは輸入される全てのカカオは、EUの「森林破壊フリー」規制に準拠する必要があります。これに適應するため、私たちは方法論を見直しており、EUDR(欧州森林破壊防止規制)に合わせ、さらに調整する可能性があります。

本年のアグロフォレストリー活動を通じて、炭素除去総量を19%増加させることができました。この結果は、私たちのお客様のスコープ3(間接的な温室効果ガス排出)目標に寄与しています。

2024年に向けて

私たちは、森林破壊防止のためのデューデリジェンスを強化するため、農地マッピングの取り組みを進めてまいります。

また、アグロフォレストリーや大規模な景観プロジェクトの規模を拡大し、森林保護に積極的に取り組みます。

さらに、リスク評価フレームワークとリスク軽減ツールを用いて、パートナーが欧州森林破壊防止規制に準拠できるよう支援していきます。

66

私たちが目指すのは、単に森林破壊を止めることだけではありません。今後、森林を保護するためのより大きな活動への投資を進めてまいります。

私たちの目標は、地域社会を強化し、環境に合った場所でカカオのサステナブルな生産を促進することで、生産者がより良い生活を送れるよう支援することです。これにより、気候変動の影響を軽減し、生態系が守られ、既存農地の生物多様性を復活させることにつながっていきます。

99



ティルマン・シルバー
バリーカレボー
グローバルフォレストカーボン
プログラムリーダー

自然を豊かに



59%

森林破壊を引き起こさないことが
証明されているカカオの割合



79%

ポリゴンマップを使ったプロット



14,099 **+77%** 前年比

新規に立ち上げられた
アグロフォレストリーのヘクタール数



198,164 **+21%** 前年比

環境保護についての研修を受けた生産者



168,348 **+19%** 前年比

アグロフォレストリーで達成した
炭素除去量 (トン)



3,019

メンテナンスされた
アグロフォレストリーのヘクタール数



99,400 **+96%** 前年比

森林破壊防止の目的で農地外に
配布された苗木



2,746,684 **-32%** 前年比

生産者に配布されたシェードツリーの苗木



CHF 130k 13万スイスフラン

PESから生産者への支払額